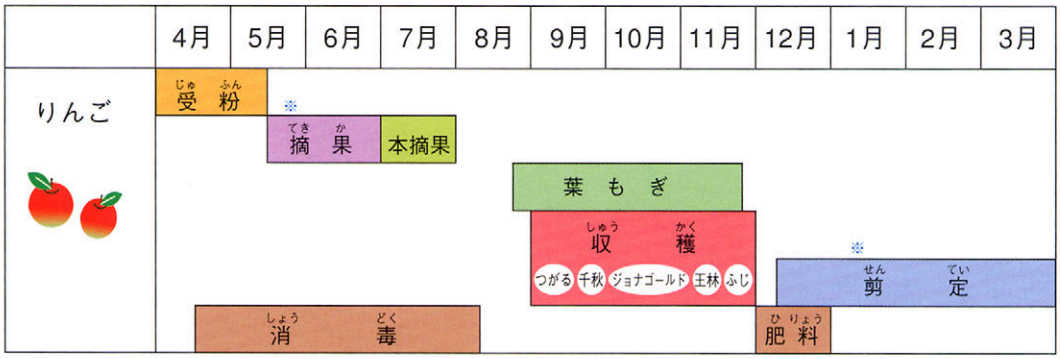
くだものづくり

会津坂下町では，くだものもたくさん作られています。くだものの中で一番多く作られているのは，りんごです。いろいろな種類のりんごがつくられています。

＜一年間の仕事＞



＊摘果（果実がつきすぎた時によぶんなものを小さいうちにつみ取ること）
＊剪定（生育や実りをよくするために木の枝の一部を切り取ること）

農家のおじさんの話

1本のりんごの木から500このりんごがなります。りんごの実がなるまでいろいろな仕事があります。りんごの花がさいたらみつばちをつかって受粉をします。小さい実は5こくっついている中から1こだけのこし，その後は2000この中からいいものだけ500このこします。これが摘果，本摘果です。害虫や病気にやられないように消毒もします。1年に13回もやるのでたいへんです。いまは実に袋をかけなくなったので味がよくなりました。じゃまな葉を取って太陽がよくあたるようにしています。冬の間は剪定をしてよい枝をのこします。